

おいしい! お宝マップ



30 柑橘園
昭和43年に農業構造改善事業で水田から柑橘園に転換したもので、北浦地域で最大の産地となる。古くから鶴山・榊山の産地と合わせて、萩の夏みかんを支えている。

31 天長山からの展望
山頂は、①弥生末の高地性集落、②大井最古の古墳、③中世の城などがあった。ここからの展望は絶景。大井のほぼ全景が見渡せる。

32 阿字雄の滝
阿字雄家(旧弘誓寺)の裏の急な坂道を100m登ったところ。増水時垂直な柱状節理を流れ落ちるさまはすばらしい。

33 雪舟風庭園(阿字雄)
旧弘誓寺の庭である。庭そのものも見事だが、ここからの展望もすばらしい。大井の大半と沖の大島が一望のうちにあり。

34 日本海の大敷網
平成2年に小型定置網を導入したのが始まりで、萩地域ではもっとも遅い設置ではあるが、好漁場のため四季おりおりの漁があり、ブリ・イカ・アジ・サバ、時にはクジラも入ることがある。

35 立岩
大井(萩市)と奈古(阿武町)の境。江戸時代はこの岩から大島北端の見通しが海上とされた。

36 夫婦岩
萩方面から国道191号線を北上し、大井地区に入るとはじめての目印になる岩。ここから大井の集落がはじまる。

37 平井製簾所
萩の竹を使用して古きよき日本の伝統工芸「お座敷すだれ」を作っています。2005年に小泉首相とプッシュ大統領が会談した京都迎賓館にも平井製簾所のお座敷すだれが納められています。

38 駅の散髪屋さん
かつて国鉄時代の長門大井駅ではたくさんの駅員さんが掃除をしたり、ストーブを炊いたり、活気があった。JRになり駅舎は散髪屋さんになって再出発。

39 歴史の齊藤さん
大井のことならなんでも知っている歴史の匠!

40 樹木医の草野さん
大井はもちろん県内の樹木のことならなんでもおまかせの樹木医さん!

41 阿字雄さん
オープンガーデン

42 手塚さん
オープンガーデン



郷土料理



- のっぺい
- いとこ煮
- わかめむすび
- ちしゃなます
- 夏みかん菓子

地域産物

- たまねぎ
- 柑橘
- ブロッコリー
- はなっこりー
- 種粉
- わかめ
- ひじき
- イカ
- うに
- さわら
- 甘鯛
- ふぐ
- ぶり
- ひらそ
- たこ
- さざえ
- なまこ
- あわび
- パイ貝



古代ロマンの里
夕日の美しい日本海
海の幸山の幸の和みの里



交通アクセス

飛行機	
東京～萩・石見空港	1時間30分
大阪～萩・石見空港	1時間
自動車	
JR小郡駅より	1時間10分
美祿インターより	1時間
鹿野インターより	1時間40分
戸河内インターより	2時間
山口宇部空港より	1時間30分
萩・石見空港より	50分

お問い合わせ先

- 萩市大井出張所 TEL 0838-28-0211
- 萩農林事務所(企画振興室) TEL 0838-22-4800



1 菅原神社
通称「七重の天神さま」と呼ばれ、神社の森がすばらしい。古くは七重の素封家藤田家によって神事がとりおこなわれていた。



2 大應寺（大寺の塔心礎）
「曹洞宗随流山大應寺」創建は平安時代と伝えられる。門前の巨石は白鳳期創建の大寺の塔心礎で全国的に見ても極めて大きい。



3 正楽寺
「浄土真宗本願寺派林光山正楽寺」津和野城主吉見家ゆかりのある寺。明治初年、ここが小学校校舎になった。



4 大井八幡宮
「阿武郡十八郷社」社伝の阿武家文書のうち14点は萩市指定有形文化財。参道周辺は北浦最大の弥生時代の遺跡。



11 湯田の大ヤマモモ
阿武健さん宅の背後。株分かれしているが一本の木に換算すれば幹周3.7m。県下最大級。



12 伊藤家のイブキとノウゼンカズラ
イブキは幹周3.7mで樹齢は300年がそれぞれ。このイブキに直径10センチ以上のノウゼンカズラが巻き上がっている。（夏には真っ赤な花が咲く）



13 七重分校のヒマラヤスギ
大井小学校七重分校跡地に幹周2.7mのヒマラヤスギがある。明治26年(1893)に校舎を建て替えた時植えられたのであろうと言われている。（左側の木）



14 阿武家の大サツキ
羽賀地区阿武家の庭。樹冠6mにも達する。樹齢220年以上と言われている。



5 湊観音堂（湊観音様）
安政時代、大井と奈古の境に霧無し地蔵と呼ばれる地蔵様があり、そのおかげにより現在の地に御堂を建てたと伝えられ、今は集落の中にあるが、昔はここまで舟がつけられた。



6 岐島神社（恵美須様）
昔から不漁の時期や時化の時には、漁師仲間がお宮へ参り、豊漁祈願のお通夜を行っていた。現在でも大漁を祈る大切な行事が行われる。



28 出城の石垣と防壁
麓山(うやまみさき)の先端部分を中心に石壁が複雑に伸びている。中でも石門のあるあたりは高さ4mにもおよぶ石壁が城壁状に弧をなしている。元の襲来に備えての防壁説もある。



24 湊古墳
湊観音のすぐ裏の果樹園にある。古墳上の土はとり除かれ横穴式石室の天井石が露出している。



15 齊藤家の大サツキ
樹冠幅6.2×4.4m。一本の木から広がったものと思われる。樹齢430年ぐらいい言われている。



16 阿字雄家のハクモクレン
旧弘誓寺の裏。幹周2.4mの古木で以前は大島からも遠望でき農作業の指標になっていた。



17 佐伯家のカゴノキ
樹高9m。幹周3.4mで県内最大。カゴノキは「鹿子の木」の意味で樹皮が毎年まだら状に剥がれ落ちるから。



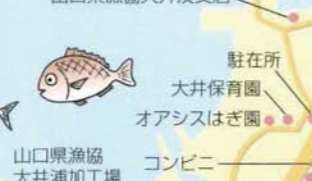
18 佐伯家の大ツツジ
カゴノキのある佐伯さんのすぐ隣の佐伯さん。樹冠3mのキシマツツジ。少なくとも180年は経っているとのこと。



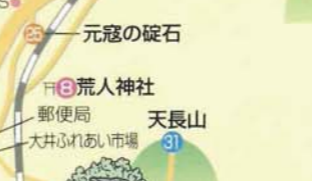
7 青木稲荷神社
青木正一位稲荷神社は湊の出口に位置し、漁に出る船主は必ず海の安全と豊漁を祈願している。九尾の狐伝説がある。



29 元寇の礎石
昔々、佐々古の浜に長い石が浮き上がった。村人はこの奇異を恐れ、えびす様として荒人神社前へ移し崇めた。実はこれは船の礎石で元寇の時のものと言われている。（右の柱が礎石）



25 元寇の礎石
昔々、佐々古の浜に長い石が浮き上がった。村人はこの奇異を恐れ、えびす様として荒人神社前へ移し崇めた。実はこれは船の礎石で元寇の時のものと言われている。（右の柱が礎石）



26 吉見正頼・広頼の墓
吉見氏は津和野の城主。指月に居宅をかまえたが、毛利輝元が指月に築城を始めたので大井に移った。



27 三善康朝の墓
鎌倉時代、この地方の地頭であった「三善康朝」の碑。永仁六年(1298年)の銘がある角柱碑で、中世の歴史を知る上で極めて貴重。



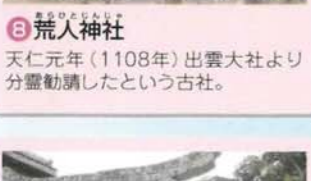
28 三段土俵跡
毛利敬親公おかかえの力士「阿武松緑之助」が土俵入りした。三段土俵は横綱が土俵入りする時だけ免許された。



29 水はね
洪水の際、大井川の水が門前地区を直撃するのを防ぐため川にほどこした石壁(せきりい)石を積み上げて作った防壁用の土手。江戸時代の河川工学のレベルは意外と高い。



19 影向石
神の降臨する聖なる石。大井八幡宮はここからはじまる。



8 荒人神社
天仁元年(1108年)出雲大社より分霊勧請したという古社。



20 円光寺穴観音古墳
古墳の石室の規模は県下有数。阿牟君(あむのみきみ)の系譜につながる者の奥津城(おくつき)と考えられる。(大井は日本書紀の景行天皇の系にあらわれる「阿牟君」の居住地であったと言われている)



21 弘誓寺跡
明暦年間、大井宮地にあった安養寺を引寺、弘誓寺と改めた。明治4年に弘誓寺を廃し阿字雄氏となる。幕末、七郷の一人、沢宣嘉(のぶよし)が潜居した。



22 和智東郊の詩碑
和智東郊は毛利藩の儒学者。阿字雄の滝の下の巨岩に東郊の詩が陽刻(ようこく)文字が浮き出るように彫刻すること)で刻まれている。



23 阿字雄家のハクモクレン
阿字雄の滝、阿字雄の滝、雪舟風庭園、阿字雄さんオープンガーデン



24 阿字雄さんオープンガーデン
阿武家の大サツキ、佐伯家のカゴノキ、佐伯家の大ツツジ



25 三善康朝の墓
鎌倉時代、この地方の地頭であった「三善康朝」の碑。永仁六年(1298年)の銘がある角柱碑で、中世の歴史を知る上で極めて貴重。



26 吉見正頼・広頼の墓
吉見氏は津和野の城主。指月に居宅をかまえたが、毛利輝元が指月に築城を始めたので大井に移った。



10 周鷹寺
「曹洞宗海岸山周鷹寺」寺名は吉見正頼の法号「月左周鷹」に基づく。吉見家の菩提寺。



20 円光寺穴観音古墳
古墳の石室の規模は県下有数。阿牟君(あむのみきみ)の系譜につながる者の奥津城(おくつき)と考えられる。(大井は日本書紀の景行天皇の系にあらわれる「阿牟君」の居住地であったと言われている)



21 弘誓寺跡
明暦年間、大井宮地にあった安養寺を引寺、弘誓寺と改めた。明治4年に弘誓寺を廃し阿字雄氏となる。幕末、七郷の一人、沢宣嘉(のぶよし)が潜居した。



22 和智東郊の詩碑
和智東郊は毛利藩の儒学者。阿字雄の滝の下の巨岩に東郊の詩が陽刻(ようこく)文字が浮き出るように彫刻すること)で刻まれている。



23 阿字雄家のハクモクレン
阿字雄の滝、阿字雄の滝、雪舟風庭園、阿字雄さんオープンガーデン



24 阿字雄さんオープンガーデン
阿武家の大サツキ、佐伯家のカゴノキ、佐伯家の大ツツジ



25 三善康朝の墓
鎌倉時代、この地方の地頭であった「三善康朝」の碑。永仁六年(1298年)の銘がある角柱碑で、中世の歴史を知る上で極めて貴重。



26 吉見正頼・広頼の墓
吉見氏は津和野の城主。指月に居宅をかまえたが、毛利輝元が指月に築城を始めたので大井に移った。